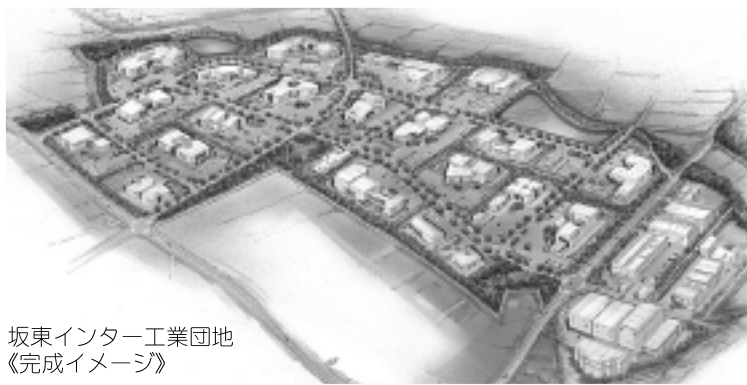


坂東インター工業団地

配水場の整備に着手しました

3月16日、坂東インター工業団地（半谷・富田工業団地）内に建設する配水場の起工式が行われました。起工式には市議会議員や地元区長、関係者のみなさん60人が出席、工事期間中の安全祈願などを行いました。



坂東インター工業団地
《完成イメージ》



▲起工式の様子

配水場は、工業団地内を給水区域とし、1日最大給水量3000立方メートルの処理能力を備え、停電の際も給水できるように自家発電設備も整備します。

坂東インター工業団地（約74ha）は、半谷・富田地区内で整備が進められており、年内の一部分譲に向けて造成工事に着手しています。

ばんどう まちづくり

坂東市長 吉原英一



豊かな農村空間を

未来に

市では、「力強い農業の実現と活力ある住みよい農村づくり」「安全・安心な食料の安定供給」を目指し、農業生産基盤と農村生活環境の整備を一体的に行っているところだ。

分散している農地を集約し、農作業の効率化を図る区画整理や、農地の水はけを良くし台風や大雨による冠水を防ぐ排水路整備、漏水による干害を防ぎ作付けや収穫を計画的・安定的に行える用水施設整備などの

基盤整備事業を行うことで、高品質で生産性の高い優良農地づくりを進めています。また、農道整備は、輸送コストの効率化や集落周辺の生活道路としての役割を果たしています。

これまでに、岩井北部（上出島）、逆井、借宿・生子、西生子の4地区計232haの基盤整備事業が完了し、寺久・みむら、駒跼、坂東中央（半谷・杵掛）の3地区計174haで整備が行われています。さらに、富田地区37haは、地区住民が主体となり事業採択に向け手続きを進めています。

また、水田の基盤整備として、七郷中川土地改良区内200haで整備が行われており、間もなく完了する見込みとなっています。

そのほか、農業の営みは、単に食料を安定的に供給するだけではなく、洪水を防ぎ地下水をつくるなど多面的な機能を有しており、農業用水路、排水機場などの施設は、こうした多面的な

機能を支えています。このため、施設を管理する各土地改良区と協力し、老朽化した施設を国・県の補助を活用し、改修や施設の長寿命化を図っています。

農業農村の良好な景観は、日々の疲れを癒してくれるやすらぎの空間を提供してくれるとともに、多様な生態系を支える国民の財産となつていますが、近年の農業従事者の高齢化や担い手不足から、耕作放棄地が見られるなど、農地の維持管理が困難な状況となつていきます。このため、農業従事者だけではなく地域住民も参加して、農地や農業用水路などを維持・保全する共同活動や農村環境を保全していくための活動に対し「多面的機能保全活動支援」を実施しています。

これからも、農村の基盤整備、生活環境整備を総合的に進め、豊かな自然環境を保全しつつ災害に強いまちづくりに取り組んでいきます。